

みんなのぎかい

すもと市議会だより

2018.1.15 Vol.46

完成まぢか!

**淡路島中央スマート
インターチェンジ**

正式名称も決まり、2月に供用開始が
予定されています。市の中心に位置するこ
とから、市内各地への移動時間が短縮さ
れ、観光振興や企業進出が期待されます。

CONTENTS

- 12月定例市議会の概要・常任委員会の動き …… (2)～(4)
- 議員提出議案・議会日程・意見書 …… (4)
- 一般質問 …… (5)～(9)
- 議決結果 …… (10)
- 行政視察報告・視察の受け入れ …… (11)～(12)
- 新年あいさつ・議員研修 …… (13)
- 議会報告会・編集後記 …… (14)



名誉市民選定に同意

堀井 雄二氏

本市出身の日本を代表するゲームデザイナー。国民的ロールプレイングゲーム「ドラゴンクエスト」シリーズの生みの親として知られています。

経歴

- ・昭和29年1月6日生
- ・早稲田大学第一文学部卒業
- ・昭和58年から昭和60年ゲームソフト「ポートピア連続殺人事件」などを発表
- ・昭和61年から平成29年ゲームソフト「ドラゴンクエスト」シリーズを発表
- ・平成20年から平成29年「ふるさと洲本もつともつ応援寄附金」として寄附
- ・平成29年「ドラゴンクエストミュージアムセレクションズ淡路島・洲本」開催を支援

平成29年12月定例会市議会は12月8日に招集され、専決処分承認や報告6件、平成29年度補正予算14件、条例の制定や一部改正など15件、契約締結1件、計画変更1件、洲本市名誉市民選定1件、人体案件1件、議員提出議案1件、意見書案1件の計41件の案件が上程されました。

その内、31件の議案が各常任委員会に付託され、審査が行われました。

12月8日の本会議において、損害賠償額の決定と和解など、専決処分の承認や報告6件、議員提出議案1件は全会一致で承認・可決されました。

12月20日の本会議では、堀井雄二氏の洲本市名誉市民選定1件、人体案件1件、意見書案1件は全会一致で同意・可決されました。

各常任委員会に付託された31件の議案については、所管する担当部署より詳細な説明を聴取し、慎重審査を行い、各委員長より審査報告を受け、一般会計補正予算11億3719万2千円の増額、特別会計補正予算5860万6千円の減額、条例の制定や市役所立休駐車場の供用開始に向けての条例の一部改正、変更契約締結、過疎地域自立促進計画の変更など31件の議案は、全て全会一致で可決されました。

議案審査

総務常任委員会

ふるさと洲本もつともつ応援寄附金事務事業などの補正予算

ているが、6件の申請所在地はどこか。

(A)〔企画部〕安平が2件、内田・納・鳥飼・炬口は各1件である。

Q 立体駐車場の使用料金について、市役所での届け出や会議などのため使用した場合は減免処置がなされるが、どのように行うのか。

(A)〔総務部〕各課で、対象者の駐車券に証明のため押印し、総合案内所で確認のうえ、機器を使用し駐車券の無料化の処理を行い、減免処置をする予定である。

Q ふるさと洲本もつともつ応援基金の寄附額が昨年同時期より、約1億3000万円増額しているとの報告だが、件数ほどのくらい増えているのか。

(A)〔財務部〕昨年11月末では、約1万4000件であったが、今年度では約2万9000件で約6000件の増になっている。

Q 応援基金の返礼品の中で、多い品物は何か。そしてどの地域の方の寄附が多いのか。

(A)〔財務部〕返礼品の中では、海産物、肉、野菜などの1次産業の品物が最も多く、地域では関東地域の方が全体の約42%になっている。

Q 移住定住のための空き家入居支援事業の中で、空き家の改修などに6件の申請があり、補正額に100万円があがっ

(A)〔総務部〕近隣の駐車場経営の金額を考慮して、800円に設定した。

Q 駐車料金が1日最大800円になっているが、その根拠は。

(A)〔総務部〕



▲今年3月供用開始の立体駐車場

堀井雄二氏の

補正予算の主な内容

- ふるさと洲本もともとと応援寄附金事務事業
1億6,830万円
(ふるさと納税にかかる返礼品及び郵送料など)
- 施設型給付費(私立認定こども園入所分) 3,200万8千円
(入所児童数の増及び措置単価のアップなど)
- 障害者自立支援費 2,413万円
(介護給付費・訓練など給付費の増)
- 認定こども園整備事業
1億2千万円
(工種の追加などによる工事費の増)
- 平成29年発生農業土木災害復旧費 1億2,235万6千円
- 平成29年発生公共土木施設災害復旧費 9,000万円



▲市役所へ用事で来られた方の駐車は無料とする予定の立体駐車場

教育民生常任委員会

医療扶助費などの補正予算

Q 医療扶助費で5000万円補正が計上されているが、どのような内容か。

A〔福祉部〕生活保護受給世帯に大きな変化はないが、被保護者の高齢化に加え、多額の医療費を要する疾病や入院に起因して増加している。

Q 私立認定こども園施設型給付費で3200万円補正が計上されているが、対象となる認定こども園は。

A〔福祉部〕洲本こども園、認定こども園おおのである。

Q 多機能端末

機による諸証明書の交付に伴う洲本市手数料条例の一部改正について、多機能端末機による住民票の手数料はいくらか。

A〔生活部〕住民票の手数料は300円であり、契約コンビニであれば日本全国で利用できる。

Q 地域子育て支援のための施設改修として、300万円補正が計上されているが、どのような内容か。

A〔教育委員会〕洲本子育て学習センターでは、子どもの安全性を考えた窓の安全対策を、五色すこやか子育てセンターでは、衛生面に配慮して、主にキッチンを改修し授乳環境の充実を図る。



▲日本全国で利用できるコンビニの端末機

産業建設常任委員会

災害復旧の 補正予算などを審査

◎ 由良交流センターエトワール生石の指定管理者を指定する議案が上程されているが、指定管理者を選定する基準は。

◎ 6月の梅雨前線豪雨、台風21号による農災の地域別件数は。

◎ 洲本炬口漁協のヒラメ中間育成施設更新費に対する補助に110万円計上されているが、総事業費は。

◎ 洲本炬口漁協のヒラメ中間育成施設更新費に対する補助に110万円計上されているが、総事業費は。



▲解体される新亀谷団地（宇原）

◎ 宇原にある新亀谷団地の解体費用として600万円計上されているが、解体後の跡地利用は。

議員提出議案 条例の改正

「洲本市総合基本 計画審議会条例」の 一部を改正

この度、市政を総合的かつ計画的に運営し、まちづくりの指針となる、洲本市総合基本計画の目標年次が平成29年度で最終年度となり、市は、新たな洲本市総合計画の策定に着手しています。

従来、この計画策定には、議員も審議会委員として参画していました。しかし、市長から提出される計画議案に対し、議会が審査・審議を行うため、二元代表制のもとで担うべき役割・機能を考慮した結果、条例の規定において審議会委員から議員を削除する改正を行いました。

議会日程

平成29年	12月1日	告示 常任委員長会
	12月5日	議会運営委員会 議会報編集特別委員会
	12月8日	本会議第1日（提案説明） 総務常任委員会
	12月12日	本会議第2日（一般質問5議員） 議会運営委員会
	12月13日	本会議第3日（一般質問3議員）
	12月14日	産業建設常任委員会
	12月15日	教育民生常任委員会
	12月18日	総務常任委員会
	12月19日	議会運営委員会
	12月20日	本会議第4日（採決） 総務常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会
平成30年	1月5日	議会報編集特別委員会

意見書

地方自治法第99条の規定に基づき、次の意見書を関係機関へ提出します。

道路財特法における補助率等の かさ上げ措置の継続を求める意見書

- 道路ネットワークの整備を初め、市民生活や社会活動を支えるために必要な道路整備や適切な維持管理を着実かつ計画的に実施できるよう、平成30年度予算及び平成29年度補正予算の総額を安定的かつ十分に確保すること。
- 道路財特法の補助率等のかさ上げ措置については、平成30年度以降も現行制度を継続すること。

※道路財特法とは・・・
道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律

スバリ!!! ここが聞きたい

先田正一 P.5	中野睦子 P.7
●福祉施策について	●安心して子育てできる環境について
●公共施設等の総合管理計画について	●市役所庁舎について
●教育現場の課題について	近藤昭文 P.8
地村耕一良 P.6	●学校給食と食育について
●市長在職8年間について	●障がい者支援について
●今日的な課題への対応について	●市道の維持管理、交通安全対策について
●本市の将来について	片岡格 P.8
福本巧 P.6	●漁業問題について
●洲本市公共施設等総合管理計画について	●越波対策について
●洲本市津波避難計画について	小野章二 P.9
間森和生 P.7	●学校教育の充実について
●子ども・子育て支援について	●行財政改革の取り組みについて
●自然再生エネルギー事業について	●新洲本市総合基本計画策定について
●直営診療所の抜本的対策について	

※ここに表示した質問項目は、定例会議会で実際におこなった質問を全て記載してあります。ただし、各記事に全ての質問・答弁が掲載されているとは限りません。
定例会議会の会議録は市の図書館でご覧いただくか、市ホームページ内の市議会会議録検索をご覧ください。
なお、掲載時期については、定例会議会終了からおおよそ2カ月後の予定で議会事務局ホームページにてお知らせいたします。



▲介助負担軽減のため導入された介護ロボット（福祉用具）



先田正一（公明党）

**介護ロボットの導入で
介助負担の軽減を要望**

福祉施策

Q 介護ロボットのさらなる導入は。現在、介護施設の支援として2施設に導入。介護をする側、される側、ともに効果があると考ええる。国県における助成事業の実施状況や介護保険制度での福祉用具の有効な利用などについて、介護施設、ケアマネージャーなどに広く周知を図る。（健康福祉部長）

A 公設市場においては、出店事業者に対して、平成28年度以降に撤去したい旨を伝えている。（都市整備部長）

公共施設などの総合管理計画

Q 市営住宅船場団地と公設市場の現状は。

A 現在、船場団地の入居者には個別面談で用途廃止、移転に向け今後の詳細な話を進めている。（都市整備部長）

教育現場の課題

Q 授業への良書活用と学校図書館の充実は。

A 授業をより深みのあるものとする有効な手段であり、さらなる学校図書館の充実に努める。（教育長）

Q 学校への井戸整備は。

A 現在、小学校の2校が整備済み、平成29年度中に4校の整備を計画。今後は検討課題。（総務部長）

その他、成年後見人制度、診療報酬・介護報酬の同時改定、上水道の老朽化対策、旧スポーツセンターの活用、いじめアプリなどについて質問した。



誰もが住みたいと思えるまちに

地 村 耕一良 (宙)

在職8年間の自己評価

8年間の在職期間を振り返り、どのように自己評価されているのか。

市政を預かった8年間は、つながりの大切さを置き、加えて、優しさ、美しさを市政運営の主題に掲げ、さまざまな施策に取り組んだが、洲本市を今よりもっと暮らしやすく、そして誰もが住みたいと思えるまちにするには、まだ道半ばである。(市長)

市役所周辺の統括的な整備方針は、中心市街地、中でも市役所周辺地

区は、今後も商業や業務の拠点としての機能を発揮していく地区であり、中心市街地全体の活性化に向け、新たなにぎわいづくりとそ

9月に計画策定支援事業者の選定を行い、現在、現計画の評価、検証作業を行っている。12月中旬に中

市庁舎の西側で新会館の建設計画が進み、建設事業への支援措置も含め、現在、協議を進めている。(企画情報部長)

シヨップを開催し、意見を吸い上げ、下旬には計画案を審議いただく洲本市総合基本計画審議会の開催を予定している。(企画情報部長)

新総合計画

新総合計画策定の進捗状況は。



▲つながり、優しさ、美しさを取り入れた新庁舎整備

公共施設の管理・活用

施設の複合及び集約化によって未利用となる施設の利用計画の検討状況について。

各施設の利用状況や耐震性などの建物性能を踏まえ、施設の管理方法を検討している。公共施設として維持すべきでないと考えられた施設については、民間などへの貸付も含め施設利用の検討を進める。(理事)



福本 健 (宙)

金返還の必要性や老朽化した未利用施設などの存続に係る経費などを考慮した施設の再建計画を進める必要がある。(理事)

で説明、防災訓練では、学校に配備した浄水器の実演、簡易担架による搬送、津波VR映像の体験などを取り入れている。(総務部長)

防災教育の充実

新たな教育素材の導入や工夫した研修プログラムの取り組みについて。



▲今後の施設活用が気になる公共施設

年度内に災害編、救急・病院編など、5種類のコミュニケーション支援ボードを作成し、指定避難所や各病院に配備したい。普段から地域の皆さんとコミュニケーションをとっていただくことが、災害時に自らを救う最も大切なツールになる。(健康福祉部長)

災害時の意思疎通手段の確保

災害時における障がい者などの意思疎通手段の充実について。

集約などの施設の転用においては、国の補助金や市債などの施設建設に係る状況により生じる国との協議、許可の取得、補助

学習会では、過去の災害関連映像の視聴や、パソコンやスマートフォンを用いて地域のハザード情報



閉園幼稚園は、
放課後子ども施設に活用を

間 森 和 生 (日本共産党)

認定こども園開設

Q 認定こども園の教育・保育力キュラムの検討は。

A 幼保連携型認定こども園教育・保育要領で示される内容を基本とし、これまで運営してきた豊富な経験を生かした教育・保育を提供していく。

(健康福祉部長)

Q 閉園後の第一、第三、加茂幼稚園の施設の利用について考えは。

A 閉園後の施設利用については、洲本市学校教育審議委員会の報告「子育てや児童の健全育成を支援する『放課後児童クラブ』や『放課後子ども教室』などの施設としての利

用が望ましいが、地域の高齢者が利用できる複合的な施設として幅広く活用することも考えられる」との意見をいただいております。施設の立地環境、建物の状況なども踏まえながら、今後、洲本市公共施設等マネジメント委員会において検討して行く方針である。(教育長)

自然再生
エネルギー事業

Q 洋上風力適地抽の影響は。

A 海洋産業研究会の調査では、調査海域が違つので一概には言えないが、漁獲量や魚種について減少した事例はないとの報告である。(産業振興部次長)



▲拡幅工事が進む旧県病横の市道下加茂線

Q 自然再生エネルギー事業は、住民の合意と地域貢献を基本に進めていただきたい。また、地域で作った電気を地域で使うエネルギーの地産地消を目指しては。

A 小水力発電や、ため池ソーラー、竹チップの利用など、他の自治体よりも進んでおり、地産地消を実現する素地は整っている。(産業振興部次長)



「子育てしやすい田舎」
日本一をめざして!

中 野 睦 子 (志)

子育てを
取り巻く環境

Q 今年4月にスタートした母子健康包括支援センターの状況は。

A 妊娠・出産期から子育て期に至るまで切れ目のない支援を行う目的でスタートし、10月末現在での相談件数は76件。支援者のいない方、20歳以下の若年妊婦、35歳以上の高齢妊婦の相談が多く寄せられ、不妊治療の相談、入籍や子どもの認知、望まない妊娠、妊婦健診、産後の授乳の悩みや子育てと仕事の両立など、幅広い相談に対応している。助産師や保健師が支援し、産後つつや児童虐待の

予防などにもつながっている。(健康福祉部長)

Q 小さなお子さまを持つ親同士の交流や遊び場所などの子育て応援は。

A 公立保育所が月に一度、園庭開放しており、相談にも応じているほか、総合福祉館2階の「児童センター」と、鮎原保育園2階の「鮎原児童館」は毎週月曜日から土曜日に利用できる。

ほかに、市役所庁舎について質問しました。

洲本中央公民館の「洲本子育て学習センター」、五色中央公民館の「五色すこやか子育てセンター」を開設し、0〜4歳までの乳幼児を育てる両親を支援してい



▲遊びも学びも、めいっぱい!(児童館で遊ぶ子どもたち)



近藤 昭文（日本共産党）

給食食材の地産地消の拡大を 給食費の無償化を検討課題に

学校給食と食育

Q 本市の食材の地産地消の調達率、割合は。また拡大の考えは。

A 洲本市産11%、淡路島内産27%、兵庫県産35%。国、県の目標が30%であり、地産地消をより多く取り入れられるよう努める。（教育長）

Q 全国で給食費を無償にする自治体が83に増えており、家庭では無償化によって年間約5万円程度の負担



▲中川原町にある洲本給食センター

A 自己決定の支援のため、情報提供

Q 障がいを持つ子どもたちの将来、就職や自立について、行政の支援として何ができるのか。

障がい者支援

A 一自治体が給食費を無償化するかどうかは政策的判断に委ねるべきこと。無償化を教育の充実と捉えるならば、国家の大計であるべきと考える。（市長）

A 都市整備部長

Q 市内13の小学校を2グループに分けて隔年ごとに実施。平成24年度から昨年度まで市道の37か所で対策を実施している。

市道の維持管理、交通安全対策

Q 通学路点検の実施、その実績は。

Q 農業支援に比べ、漁業支援策が少な

A 産業振興部長

漁業問題

Q 市の基幹産業とする漁業への認識

A 漁業は食材の提供と、観光産業を支える、なくすことができない重要な産業であると認識している。（産業振興部長）

Q 漁獲量・漁獲高が年々減少している、その原因は。

Q 越波対策の現状の認識と対策は。

A 越波対策の現状の認識と対策は。

越波対策

Q 漁獲量・漁獲高が年々減少している、その原因は。

Q 漁獲量・漁獲高が年々減少している、その原因は。

A 内田海岸は沖合の消波堤が今年度完成。道路沿いの養浜は40%完成。現在の越波箇所は県も認識しており、順次進めていく。鳥飼海岸については人エリーフ、養浜工事も行ったが結果として砂がつかなかった。今は砂の動態調査、観測を実施している。（都市整備部長）



▲波の飛散をかわし、反対車線を走る車



片岡 格（日本共産党）

つくり育てる漁業に さらなる支援を

いのでは。

Q 人の力の及ばない厳しい自然の影響を受けるものであり、漁業者の所得が安定的なものになるように、側面や後方からの支援することが施策の基本方針である。（産業振興部長）

Q 厳しい環境を打開する施策と共に、つくり育てる漁業に本格提案支援が必要だと思いが、市長の見解は。

A 提案いただいた可能性にチャレンジしていく。組合員が食べていける、もっかる漁業施策を打っていきたいという、決意は持っている。（市長）



迎える平成30年
「夢」ある将来の方向づけを

小野 章二 (志)

子どもの体力・運動能力向上

Q スポーツ庁が6歳から79歳までを対象に調査している平成28年度「体力・運動能力調査」の結果を公表した。全国の子どもと比べ本市の現状は。

A 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果では、男女とも上昇傾向にあり、県平均に迫ってきている。(教育長)

Q 体力向上に、専門家が授業で直接子どもたちに指導するという取り組みを実施している。聞いている。どのような施策か。

A 平成27年度より、子どもたちの体力・運動能力の向上を図り、

また運動嫌いの児童をなくすために、トップアスリートやトレーニングのスペシャリストが学校へ訪問し、授業で直接指導する「すもとっ子走育プロジェクト」を実施している。(教育長)

人事評価制度

Q 平成26年地方公務員における人事評価が改正され、平成28年4月から施行となっています。従来の制度との変化点は。

A 従来の能力評価に、業績評価を加え両面から人事評価を実施。今回の業績評価では、組織において各職員自ら具体的に目標設定を行う。最終目標は上司とのヒアリング

の後決定し、上司とともに業務を進める仕組みとしている。この点が大きな変化点である。(総務部長)

公共施設個別管理計画

Q 老朽化が進んでいる公共施設の個別管理計画策定後の取り組みは。

A 特に、集客施設においては、利用状況のみならず、施設ごとのコスト計算書を作成し経営的な視点からも方針を調整していく。(理事)



▲備蓄倉庫として利用している洲本市旧スポーツセンター体育館

平郡 平議員がご逝去
ご冥福を祈る



12月1日、平郡 平議員が病気で亡くされました。

平郡議員は、議員として活躍されるまでは、平成14年度から議会事務局長として事務局を取りまとめ、会議のスムーズな運営に努められてきました。

平成21年3月、洲本市役所を退職後、保護司や公益社団法人淡路納税協会専務理事としてご活躍をされてられました。

平成26年3月に行われた市議会議員選挙で当選されてからの4年間、総務常任委員会副委員長・教育民生常任委員会副委員長・産業建設常任委員会委員長などの要職を歴任されてきました。

いつも笑みを絶やさず、温和人柄でありながら、議場では決して安易に妥協することなく、信念を貫き通され、洲本市民の福祉の向上のためにご活躍されてきました。

12月定例会で、故人の遺徳を偲び、議員を代表して地村耕一良議員が追悼の言葉をささげました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



議決結果一覧

全議員賛成の議案等

件 名			議決結果
市長提出	報告第19号	平成29年度洲本市一般会計補正予算（第3号）	承認
市長提出	議案第58号	平成29年度洲本市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
市長提出	議案第59号	平成29年度洲本市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
市長提出	議案第60号	平成29年度洲本市堺財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決
市長提出	議案第61号	平成29年度洲本市土地取得造成特別会計補正予算（第3号）	原案可決
市長提出	議案第62号	平成29年度洲本市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
市長提出	議案第63号	平成29年度洲本市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
市長提出	議案第64号	平成29年度洲本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
市長提出	議案第65号	洲本市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第66号	洲本市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第67号	洲本市特別会計条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第68号	多機能端末機による諸証明書の交付の実施に伴う関係条例の整理に関する条例制定	原案可決
市長提出	議案第69号	洲本市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第70号	洲本市介護サービス事業の設置等に関する条例制定	原案可決
市長提出	議案第71号	洲本市駐車場事業の設置等に関する条例制定	原案可決
市長提出	議案第72号	洲本市下水道事業の設置等に関する条例制定	原案可決
市長提出	議案第73号	洲本市土地取得造成事業の設置等に関する条例制定	原案可決
市長提出	議案第74号	洲本市議会議員及び洲本市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正	原案可決
市長提出	議案第75号	淡路広域行政事務組合規約の変更	原案可決
市長提出	議案第76号	公の施設に係る指定管理者の指定（CATV施設）	原案可決
市長提出	議案第77号	公の施設に係る指定管理者の指定（五色健康福祉総合センター）	原案可決
市長提出	議案第78号	公の施設に係る指定管理者の指定（由良交流センター）	原案可決
市長提出	議案第79号	洲本市新庁舎等建設工事請負変更契約締結	原案可決
市長提出	議案第80号	洲本市過疎地域自立促進計画の変更	原案可決
市長提出	議案第81号	洲本市名誉市民の選定	原案同意
市長提出	議案第82号	人権擁護委員候補者の推薦	原案同意
市長提出	議案第83号	平成29年度洲本市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
市長提出	議案第84号	平成29年度洲本市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
市長提出	議案第85号	平成29年度洲本市土地取得造成特別会計補正予算（第4号）	原案可決
市長提出	議案第86号	平成29年度洲本市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
市長提出	議案第87号	平成29年度洲本市CATV事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
市長提出	議案第88号	平成29年度洲本市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
市長提出	議案第89号	平成29年度洲本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
市長提出	議案第90号	洲本市職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決
議員提出	議員提出議案第6号	洲本市総合基本計画審議会条例の一部改正	原案可決
意見書案 第1号		道路財特法における補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書	原案可決

※表記は、正式な名称ではありません。
議会内の人事に関する案件は除いています。

行政視察報告

総務常任委員会

窓口業務の民間委託について

●視察先：熊本県上天草市
11月9日、行財政改革のため、窓口業務の民間委託について調査しました。



▲熊本県上天草市

少子高齢化や景気低迷により税収減少、住民ニーズの多様化、臨時職員の増加と労務管理などに対応する必要性があったために、平成25年4月から業務委託を開始し、平成27年10月1日から59項目にのぼる業務を委託しています。

その結果、人件費については、委託前と比較すると22.7%に相当する、6010万円が削減されており、職員数についても4つの窓口や支所で、正規・臨時職員を37名から21名へと16名削減し、現在、委託社員は全て地元雇用の21名です。労務管理に効率化が図られ職員の重点的な配置が可能となっています。

今後は、諸証明書の発行業務が平成25年4月1日から郵便局で開始されており、6つの出張所のあり方が、課題です。削減できる経費は約8200万円になることから、その効果が絶大であり実現するために行政の行うべき業務や地域のニーズを整理することが課題となっています。それをすることにより、子育て・

福祉サービスや観光拠点整備に対して重点的に投資することができるようになっていきたいと説明をされていました。

教育民生常任委員会

あゆこちゃんGENKIポイント、情報・コミュニケーション条例について

●視察先：神奈川県厚木市
神奈川県横須賀市

11月24日、「あゆこちゃんGENKIポイント」事業、子育て日常生活支援事業について厚木市へ行政視察を行いました。

あゆこちゃんGENKIポイントは、①受診率向上のための各種検診の受診 ②市民の健康意識の向上や外出のきっかけづくりのために、市などが実施している事業への参加 ③健康や食育に関する個人目標への取り組みの3項目についてポイントを設定し、

ポイントに応じて商品券や温泉入浴券が抽選で当たる制度で、検診などの受診率は緩やかに上昇しています。

また、子育て日常生活支援事業は、第2子以降の子育て家庭に紙おむつなどを支給し、子育て世帯の家計へ支援を行っています。1カ月の限度額の範囲で紙おむつやおしりふきを注文でき、品物は配達で届けてもらえる制度で、出生率も上昇傾向となっています。

25日には情報・コミュニケーション条例について横須賀市へ行政視察を行いました。



▲神奈川県横須賀市

障がい者の情報取得やコミュニケーションを円滑に行うため、意義や必要性の理解を深めるための取り組みとして条例を制定しています。事業としては、コミュニケーションなど支援者の養成や拡大、支援のための機器の情報収集や利用普及、講演会等での支援者の配置の啓発などを行っています。

これらの事業や取り組みを参考に、今後本市でもさまざまな面での取り組みや支援策に生かしてまいります。

産業建設常任委員会

インバウンド・農業振興について

●視察先：兵庫県豊岡市
神戸市西区

11月1日、城崎温泉を中心としたインバウンド（外国人観光客）調査のため、豊岡市を訪問しました。

城崎温泉は、5年前と比べインバウンドが40倍に急増しており、その要因について担当課から説明を受けました。

豊岡市では、「大交流課」を設け、情報戦略・国内誘客・海外戦略など観光事業のセンタリの役割を果たしています。民間の旅行会社から社員を受け入れ、マーケティングからデータ活用、パートナーシップなど、民間のノウハウを観光振興に生かしています。

さらに、京都や大阪を訪れるインバウンドを、遠い城崎までどのように誘客していくか、豊岡市の魅力を世界にアピールしていく戦略を立てた



▲豊岡市のインバウンドを調査

観光振興に取り組まれています。

2日には神戸ワイナリー(農業公園)を訪ねました。神戸市西区は、郊外型のニュータウンが立ち並ぶベッドタウンであると同時に、神戸市の農業を支える地域です。そうした地域性をもとに、ワイン生産機能を持った農業公園が神戸ワイナリーです。地域の農業、とりわけブドウ栽培農家との連携、JAとの連携した新規就農者塾などにも取り組んでおり、農業振興面で地域と密着した取り組みを学ぶことができました。

ワイン製造は、品質の良いブドウが不可欠のことから、農家への栽培指導、徹底した品質管理などを行いながら、基準に合ったブドウを集積しワイン生産を行っており、神戸ワインのブランド化も実現しています。

地域の方を招いてのイベントやワイン祭りなど、農業公園という名前以上の様々な取り組みを行っている施設となっています。

●●●●●
全国から行政視察に来訪
●●●●●

本市では、全国各地の地方自治体の議会から、行政視察を積極的に行っています。他の自治体と情報交換がで

き、本市の取り組みに対して意見をいただけるなど、行政視察は議会活動の向上に役立っています。

行政視察の受け入れ状況 (平成29年4月～11月)

月日	議会名	人数(人)	調査内容
29. 4.18	栃木県 <small>おやま</small> 小山市議会	7	定住自立圏構想について
29. 5.11	和歌山県白浜町議会	9	バイオマス産業都市構想について 菜の花・ひまわりエコプロジェクトについて
29. 5.24	千葉県八千代市議会	3	新庁舎整備事業について
29. 7.12	秋田県湯沢市議会	8	空き家同居支援について 移住・定住優遇制度～お帰りのプロジェクト～について
29. 7.27	千葉県 <small>ちうがね</small> 東金市議会	8	「地域が地域の高齢者を支える」事業について
	奈良県大和高田市議会	11	新庁舎建設事業について
29. 8. 1	埼玉県 <small>きたまち</small> 北本市議会	3	いきいき百歳体操について
29. 8.23	和歌山県 <small>ごぼう</small> 御坊市議会	14	新庁舎建設事業について
29.10. 2	山形県米沢市議会	3	エネルギーパーク洲本について
29.10. 3	群馬県みどり市議会	9	再生可能エネルギーについて
29.10.25	神奈川県座間市議会	6	「お帰りのプロジェクト(洲本市定住促進事業)」について
29.11. 9	奈良県 <small>おうし</small> 王寺町議会	14	観光振興と地域活性化の取り組みについて
	兵庫県たつの市議会	10	文書共有システム及びタブレット端末の導入について

※人数には議会事務局の随行者などを含んでいます。



新年あいさつ

議長 小松 茂



副議長 木戸 隆一郎



新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新年を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃より、市政の発展と議会運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年より本格導入いたしましたタブレット端末

を活用し、議案や資料などのペーパーレス化の取り組みを進めております。現在は紙の資料との併用ではありますが、今年2月定例会より完全ペーパーレス化に向け推進してまいります。

また、二元代表制における役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに、市議会の改革、活性化に積極的に取り組みつつ、皆さまの負託と信頼に応えるべく、全力を尽くしてまいります。

これからも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年一年が、市民の皆さまにとって、素晴らしい年になりますよう心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

議員研修

「淡路島への移住相談の現況について」

◆10月23日

あわじ暮らし総合相談窓口主任相談員の赤松清子氏より「人口減少・少子化・超高齢社会、淡路島への移住・定住促進を図るために！」と題して、あわじ暮らし総合相談窓口の現況や取り組みなどにつ



▲講演内容は：あわじ暮らし

いて、講演いただきました。

淡路島への関心は非常に高く、相談件数・移住成立件数とも年々増加傾向となる一方で、移住者の希望が多い古民家などの借家の情報が圧倒的に不足しています。今後、増え続ける空き家をいかに有効活用するかが課題となっております。

「救命講習の受講について」

◆11月22日

淡路広域消防事務組合消防



▲議員も真剣に救命訓練

本部消防課 救命講習担当である由良氏並びに坂田氏より、心肺蘇生とAEDを用いた救命措置について講習を受けました。まず、実際に手本を見せていただき、その後、「60代後半の男性がショッピングセンターで突然倒れた」という設定で、各議員が交代でマネキンを使った救命訓練を行いました。1回の受講で終わるのではなく、実際に救命措置が出来るように、繰り返し訓練を続けることが必要だと感じました。

決算審査の状況など市民にていねいに説明

市の事業や議会改革について意見交換

11月20日、大野公民館で、大野連合町内会との共催で第15回洲本市議会報告会を開催し、市民68名が参加しました。

はじめに議長から、「議会基本条例に基づき開催したこと、また9月定例会の内容を市民に報告し、市民から意見を伺うことなどを目的に開催した」と述べました。

共催者である大野連合町内会長から、「議会からの報告とともに、議会が身近な存在であることを知っていただく機会にした」との挨拶がありました。

その後、議会運営委員会総務・

▲大野公民館で開催した15回目の議会報告会



教育民生・産業建設の3つの常任委員会、決算特別委員会から、9月定例会での審議内容や活動内容などについて、市議会だよりの内容も紹介しながら、報告を行いました。

参加者からは、具体的な地域の課題や、議会改革についても意見が出されました。「工事の中の市道宇原千草線のり面の草刈りは」「ケーブルテレビ事業について、市は今後どのように考えているか」「議会改革を言われているが今後どのようにしていくのか」「議会傍聴者が少ないのでは。ケーブルテレビの放映はライブにできないか」「国道バイパス延長工事の進捗状況は」など、様々な意見や要望が出され、関係する議員か



ら答弁をさせていただきました。今回寄せられた貴重なご意見やご要望につきましては、今後の議会活動に役立てるとともに、理事者側にその旨を議会として伝えてまいります。

編集後記

◆新年、明けましておめでとうございます。昨年、「今年の漢字」に、北朝鮮による度重なる弾道ミサイルの発射や核実験、また北海道にまつわることなどの理由で「北」が選ばれました。本市では、新庁舎での業務開始、交流人口を増やすべく多彩なイベントが開催された年でもありました。◆迎えた今年は「戌年」。次へ進むための新しいステップになる年であり、くしくも、洲本市総合計画をスタートさせる年です。◆議員としての任期も余すところ2カ月となりました。任期中、市民の皆さまとの距離を少しでも近づければとの思いで、議会報告会、親しまれる市議会だよりの編集・発行、加えてタブレット端末の導入、議員間討議など議会改革に取り組みしてきました。◆新年、新たな気持ちで、本紙の編集作業に取り組むことはもちろんのこと、市民の皆さまの負託と信頼に応えるため、議員活動に努めてまいります。(小野)